



PDA 神奈川県立横浜平沼高等学校、横須賀高等学校、  
横浜翠嵐高等学校、相模原高等学校 四校合同 即興型英語ディベート体験会  
一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

日時：2020年9月19日（土）9:00-11:30

場所：各高等学校ならびに参加者自宅（Zoomによるオンライン開催）

参加者：生徒27名、教員6名（特に教員人数の確認をお願いします）

助成：公益財団法人日本財団、公益財団法人KDDI財団

横浜平沼高等学校長の鑪先生より、「即興型英語ディベートを通して、英語力だけでなく、相手の話をしっかり聞いたうえで、自分の考えを相手に伝える力など、総合的な力を育んでもらいたい」また、「今日もしスピーチが上手くいかなかったとしても、他校の生徒から良い刺激を受けて、10月31日の神奈川県立高等学校交流大会に向けて、モチベーションをあげていきましょう」との激励の言葉をいただき、4校合同での体験練習会が始まりました。普段からオンラインで練習している生徒も多く、1ラウンド目から、画面の向こうにいる聞き手をしっかりと意識した、アイコンタクトやジェスチャーが光るスピーチが多く見られました。2ラウンド目では、早速、ジャッジからのアドバイスをいかしたスピーチをする生徒が多く、また、身近な論題だったこともあり、豊富な具体例を時にユーモアを交えて話す場面では、相手チームもジャッジも大きくなずいたり、思わず笑顔がこぼれたり、活気ある楽しいラウンドになりました。本練習会を通し、他校の仲間の存在を知り、お互いが良い刺激となり、生徒のやる気につながれば幸いです。





### 参加者の声 (アンケートより抜粋)

(生徒)

- ・今回の練習会は今年に入ってから初めて他校と対戦する機会です、普段の練習では得られない刺激を得られた。また、このような機会があれば参加したい。
- ・1 ラウンド目よりも 2 ラウンド目の方が上手く話せて、成長を実感できた。また、たくさんの方々の実力を知ることによって、自分自身のモチベーションを高めることもできた。
- ・難しく、上手くできなくて悔しい気持ちもあったけれど、色々な視点で話し合いができて楽しかった。もっとディベートをやりたいと思った。
- ・先輩方は、相手の意見を聞いてそれに対して反論しながら、自分の意見を話していた。自分もその部分を見習い、しっかり出来るようになりたいと思った。
- ・緊張したけど、楽しかった。素早く英語の文章を考えることで、とても良い練習になったと思う。脳をよく使ったと思う。英語だけでなく、高校生同士で会話し合える会があってもいいなあと感じた。
- ・久しぶりに頑張って英語を話して、とても楽しかった。オンラインでも意外とスムーズにできた。
- ・チームで協力することができて、とても楽しかった。また、2 ラウンド目の論題が身近な内容で、楽しく考えることができた。
- ・実際のディベートラウンドを通して、普段の練習の成果を感じることができ、達成感があった。交流大会当日のインターネット回線が少し不安。
- ・2 つ目の論題はいつものディベートと違う雰囲気でも、とても楽しかった。身近な問題をディベートで真剣に考えるというのは、とても新鮮で楽しかった。また、自分の課題についても知ることができた。
- ・論題について短い時間で考える力の向上になったし、他校の方々の意見を聞くことができて、とても参考になった。学校や県の単位でもっと盛んに行われても良いのではないかと思った。
- ・他校の生徒と交流することで、たくさんの新しい考え方を知ることができて楽しかった。また自分の実力が今どのくらいなのかを知ることができて、ますます精進しようと思った。ベストディベーター賞がとれなかったのが、大会本番に向けて、さらに頑張って仕上げたい。

(教員)

- ・生徒達がいきいきと考え、話していたのが印象的だった。初挑戦の 1 年生も意欲的に取り組んでおり、今後はますます楽しみになった。
- ・生徒の活躍の場が見られたことと、レベルの高いディベートを聞くことができた。すごく楽しく、とても勉強になった。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

R1

■■■■■ん (相模原 G)

■■■■■さん (横浜平沼 B)

■■■■■さん (横須賀)

■■■■■さん (相模原 F)

■■■■■さん (横浜翠嵐 D)

R2

■■■■■さん (横浜平沼 B)

■■■■■さん (横須賀)

■■■■■さん (横浜翠嵐 D)

■■■■■さん (横浜翠嵐 E)

POI賞に選ばれた皆さん

■■■■■さん (相模原 F)

■■■■■さん (横須賀)

■■■■■さん (横須賀)



Team 横浜翠嵐